



11月号の主な記事

- ～安全・安心なまちづくりなどの取組～……………2面
- 希望校変更を11/17(水)まで受け付けます……………3面
- みんなで北区を盛り上げる地域SNS「ピアッザ」…4・5面
- 北区子育て早見表……………6・7面
- 親子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた!」……………8面
- 北区魅力動画コンテスト2021作品募集……………12面



切れ目のない支援で 子どもの笑顔を守る

保育施設の困りごとを解決

区役所と学校等が連携し、
課題解決を総合的にサポート

小・中学生になっても
子役を見守り
支援します!!

妊娠期から保健師さんに
どんなことでも
相談できて安心

4歳児を対象に絵本で
生活習慣を楽しくお勉強

電話でも
相談に応じます!!

子どもの健康診査

初めて子育てするママをサポート
(親子の絆づくりプログラム)

助産師や保健師による訪問相談

北区の切れ目のない子育て支援

～顔の見える関係の構築～

妊娠期
乳幼児期
学齢期

- 保健師による母子健康手帳交付時の妊婦面接
- 妊婦教室やプレパパ・ママの育児セミナー
- 助産師や保健師による訪問相談
- 子育てに必要な知識を学び、助け合える子育て仲間をつくる場の提供(親子の絆づくりプログラム) **北区オリジナル**
- 乳幼児健康診査等によるフォローアップ(3か月・1歳6か月・3歳児健康診査等)
- 全ての4歳児を対象 **NEW!** 必要に応じて保健師が家庭等を訪問し、絵本を活用した健康教育・子育て相談
- 子育て関連施設での子育て相談 **北区オリジナル** 専門職員が保育施設等へ出向き、困りごとを一緒に解決
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等が「チーム学校」として子育ての課題を解決



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

11月は「児童虐待防止推進月間」です。厚生労働省の発表によると、令和2年度に全国220か所の児童相談所が対応した児童虐待相談件数(速報値)は205,029件と過去最多。新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、外出自粛等によるストレスや経済不安など、虐待のきっかけとなる家庭内リスクの増加が心配されています。

北区では令和3年度から「重大な児童虐待『ゼロ』」をめざし、子育て支援体制の充実に取り組んでいます。その柱となる取組の一つが「大阪府版ネウボラ」。「ネウボラ」とは、フィンランド語で「アドバイスする場所」という意味で、フィンランドの育児支援制度です。「大阪府版ネウボラ」は、地域の担当保健師が子育て家族と顔の見える関係をつくり、妊娠期から就学前までの子育てのあらゆる悩み

子育ての悩みは家族だけの問題ではありません。「こんなことを相談していいのかな?」と思わず、まずは悩みや不安を共有し、どうすればいいか解決策を考え、一緒に子育てしませんか?

をサポート。また、様々なニーズに応じて子育て支援室や担当課、専門機関へつなぎます。「どこに相談すればいいの?」と迷うことのない、子育て支援体制の充実をめざしています。

子育てに必要な知識を学ぶ「親子の絆づくりプログラム」では、ママ同士が子育ての悩みや喜びを共有できる場所を提供します。「4歳児訪問」では保健師が各家庭、幼稚園・保育所等を訪問。絵本の配付にあわせて、就学前までに必要な生活習慣を身につけるための健康教育を行います。

保育施設や学校とも連携します。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等が「チーム学校」として、子育ての課題解決を総合的にサポート。妊娠期から中学生まで、切れ目のない子育て支援を続けます。

6・7面に
子育て特集

区広報紙「わがまち北区」は毎月1日から5日(1月は2日から6日)に委託事業者による全戸配布でお届けしています。届いていないなどの場合は、配布委託事業者までご連絡ください。
委託事業者: 読売中央販売株式会社 ☎06-6315-5751(10:00~18:00 土日祝除く)
☎06-6312-1266 ✉wagamachi@ycom.ne.jp

北区の推計人口
(令和3年10月1日現在)
人口 140,832人
世帯数 86,430世帯

